

危機管理型水位計による水位情報の見方

- 国と県は、高梁川水系小田川とその支川に危機管理型水位計を設置し、平成30年8月6日より運用を開始 ※小田川とその支川（国：6箇所・県：3箇所）
- この水位計は、**河川の堤防天端（堤防の最上面）からの水位**を測定するもので、水位が上昇し、**観測開始水位に達すると10分間隔で水位データを更新**（※水位が観測開始水位より低い場合には表示されません）
- 水位情報を避難等に役立てていただくため、パソコンやスマートフォン等で確認することが可能

【危機管理型水位計の設置位置図】



○水位計等のマーク（ ）を選ぶことで、増水状況をリアルタイムで把握できます

【表示マークの凡例】

危機管理型水位計	通常水位計
氾濫開始水位超過	氾濫危険水位超過
危険水位超過	避難判断水位超過
観測開始水位超過	平常水位
平常水位	基準水位未設定
欠測	欠測
河川カメラ	

【スマートフォンでの表示例】



危機管理型水位計



河川カメラ



【表示水位の説明】

【**氾濫開始水位**】
堤防の高さを越えて**氾濫**が始まる水位

【**危険水位**】
氾濫の**危険性が高まる**水位（設定されていない観測所もあります）

【**観測開始水位**】
水位計で**観測を開始する**水位（水位が観測開始水位より低い場合には表示されません）

【アクセス方法】

- ・専用サイト「川の水位情報」からインターネットを通じて、どなたでも閲覧していただけます。
- ・「川の水位情報」と検索していただくか、下記URLにアクセスしてください。
- ・スマートフォン等の場合は、QRコードからでもアクセスできます。

URL : <https://k.river.go.jp/>



【操作方法】

- ・観測水位を見たい箇所の マークをクリックすると水位グラフが表示されます。
- ・ マークをクリックすると河川の画像が表示されます。
- ・ をクリックすることで観測箇所の該当する情報を見ることができます。
- ・詳しい操作方法は マークをクリックした中にあるマニュアルを参照して下さい。

※河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼びます
※小田川は概ね西から東へ向かって流れていますので、南側が右岸、北側が左岸となります